

第22回ふくしま駅伝の記録

# 激走、タスキをつないだ16人の熱い走り

総合15位、市の部11位



第5中継所、4人抜きの小泉祐樹選手は穂積健選手へタスキを託す



第11中継所、菅野勝子選手を迎える作田康輔選手(右)



第9中継所、三瓶優選手からタスキを受ける吉田和矢選手



第3中継所、吉田薫選手から渡辺祐也選手へタスキリレー

第22回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は、11月21日に開催されました。雲ひとつないおだやかな秋晴れのもと、県内51市町村が参加し、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁まで96.2kmで熱い戦いが繰り広げられました。本宮市チームは昨年の記録を11秒縮める通算タイム5時間28分53秒を記録、総合15位、市の部で11位と大健闘しました。また、高橋寛紀監督は20年連続出場賞を授賞しました。

スタート  
(白河市)

## 《レース経過》

### 市の意地 15位死守

レースは午前7時40分白河総合運動公園、快晴のスタート。今年も花の1区は2年連続主将菅野勝子選手。号砲とともに飛び出した。

今年は、昨年のリベンジ組5名、初出場7名、復活組4名と、16区間それぞれが熱い思いを抱いてタスキをつないだ。

本宮市チームの目標は「セツケン番号13位以内を達成すること」だった。

前半は、菅野勝子選手から作田康輔選手、吉田薫選手(初)、渡辺祐也選手、小泉祐樹選手、穂積健選手、高橋和也選手(初)と、積極的なレース運びで開成山に17位でゴール。常に安定したタスキリレーを展開した。

後半は鈴木大地選手(初)から三瓶優選手(初)と吉田和矢選手にタスキがリレーされ、30番台でお国入り。しかしながら、地元のお客さんの声援を受け、続く國分理沙選手(初)、遠藤隆選手、河野哲成選手、菊地悠樹選手、宮崎あかり選手(初)が懸命の追い抜きで、最終区に望みを託した。

## 《一致団結全員駅伝》



監督  
高橋 寛紀さん

今年も晴天に恵まれ本宮市商店街の晩秋の風物詩となった「ふくしま駅伝」に、沿道からたくさんの方の追い風をいただきありがとうございました。

今年も中学生5人全員を含む7名が初出場。中学生は部活との掛け持ちのため、十分な練習ができないまま本番となりました。また高校生数名もケガや修学旅行で登録できず、厳しい選手配置になりました。

そんな状況の中、コーチ兼務の遠藤隆選手や菅野勝子選手を中心に、予想外の追いかける展開のタスキリレーに、一致団結したチーム力を発揮してくれました。

アンカーを務めた難波美彰選手が上位で県庁ゴールした瞬間、仲間との絆が強く感じることができました。

年間を通して練習を支えていただいたもとみやR.Cの皆さん・家族の皆さん、大会をご支援ご協力いただいた市民の皆さんに深く感謝申し上げます。

今後とも駅伝選手育成にあたり、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。





第10中継所、國分理沙選手へタスキをつなぐ吉田和矢選手

本宮中継所前では、多くの皆さんの応援をいただきました



第11中継所、通算順位を2つ上げた國分理沙選手は遠藤 隆選手へ思いを託す



区間8位の好走をみせた難波美彰選手、福島県庁にゴール



第13中継所に着いた河野哲成選手



第13中継所、繰上げでスタートする菊地悠樹選手(選手左)

ゴール  
(福島市)

【各区間の成績】

区間	距離	部門	選手	タイム	区間順位	通算順位
1区	4.0	女子	菅野 勝子	14分02秒	16	16
2区	8.2	男子中高シニア	作田 康輔	26分28秒	15	14
3区	5.8	男子中学シニア	吉田 薫	20分13秒	30	16
4区	7.3	男子	渡辺 祐也	23分53秒	19	17
5区	6.4	男子中高	小泉 祐樹	20分50秒	15	13
6区	8.3	男子	穂積 健	28分18秒	31	16
7区	5.4	男子中学	高橋 和也	18分57秒	22	17
8区	5.4	男子中学	鈴木 大地	19分49秒	47	19
9区	3.0	女子中学	二瓶 優	11分52秒	23	18
10区	9.2	男子	吉田 和矢	30分29秒	31	21
11区	3.9	女子	國分 理沙	14分38秒	12	19
12区	7.0	男子	遠藤 隆	23分48秒	17	18
13区	4.8	男子	河野 哲成	16分19秒	14	15
14区	5.7	男子中高シニア	菊地 悠樹	19分40秒	13	15
15区	3.4	女子中学シニア	宮崎あかり	13分20秒	29	15
16区	8.4	男子	難波 美彰	26分17秒	8	15

16区アンカー難波美彰選手は、高校生ながら区間8位の力走で渾身のゴール。仲間と本宮市応援団の待つ県庁に笑顔でゴールした。総合15位。市の部11位。昨年と同じ順位を死守した。白河から県庁までの96・2キロの激走。沿道からの「もみや、ガンバレ!」の大声援が今年も16人の選手に強い強い追い風を与えてくれた。

みんな最後まで頑張ってくれました。ゴールまでタスキがつなぐことができうれしい。沿道のご声援ありがとうございました。また来年に向けて、日々頑張りたいと思います。



主将  
菅野 勝子さん